

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		消防団運営				所管	総務部 危機管理課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名		事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 昭和 3 9 年度	
		[小 柱]					[終了予定] - 年度	
		[施 策]						
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	特別区の消防団の設置等に関する条例			
	事業対象	消防団(3団体)(消防団定員:上野280名、浅草130名、日本堤140名)						
	事業目的	・消防団活動能力の向上と団員の志気の高揚 ・災害発生時において、その業務に従事した消防団員等の損害補償						
	事業内容	・消防団運営委員会の開催 ・消防団員の任免、補職、退職 ・消防団員の表彰(永年勤続表彰、家族表彰) ・消防団員等公務災害補償等共済基金への掛け金の支払い						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	消防団運営委員会開催 回		2	1	2	2	
		消防操法審査会(各署) 回		1	1	1	1	
	成果指標	消防団定員充足率 %		100.0	96.0	94.4	94.7	
		家族表彰対象者数 人		16	16	16	16	
	決算額 (単位:千円)				1,090	1,025	1,020	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			2,700	2,083	2,130	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			773	709	704	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			317	317	317	
		総経費			3,790	3,109	3,151	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			100	65	100			
一般財源(区負担額)			3,690	3,044	3,051			
前年度から改善した事項								
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	4	消防団は、震災時には消防署と連携して消防活動にあたるとともに、平常時には地域住民等への訓練指導を行うなど、地域防災の中核として重要な役割を担っており、その必要性は高い。					
	効率性	3	団員充足率が高い水準で維持できている。					
	手段の適切性	4	消防団運営委員会の開催や消防団員の任免など適切に執行している。					
	目的達成度	3	消防団は地域住民等に対する防火防災訓練を通じて連携を強化し、地域の防災力の向上に寄与している。					
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
消防団は、震災時には消防署と連携して消防活動にあたるとともに、平常時には地域住民等への訓練指導を行うなど、地域防災の中核として重要な役割を担っていることから、引続き、消防団への活動を支援していく。							維持	